

第8回 統合病理学教室セミナー

共催：日本病理学会北海道支部

さかた まみこ

演者 **坂田 麻実子 先生**



筑波大学 医学医療系血液内科学 教授
筑波大学トランスボーダー医学研究センター 教授兼任

演題

がん微小環境における「体細胞変異のある炎症細胞-がん細胞」クロストーク

2024年5月20日(月)17:00～

北大医学部学友会館 フラテホール

要旨

造血システムは、加齢とともに体細胞変異のある血液細胞に次第に置き換わるクローン性造血となることが報告されました。クローン性造血は、加齢に伴うさまざまな疾患のリスクとなることが報告されています。私達の研究室では、クローン性造血から分化した「体細胞変異のある炎症細胞」のがん微小環境における役割に着目し、研究しています。「体細胞変異のある炎症細胞」とがん細胞の異常ネットワークは、新たな治療標的としても期待されます。

参考文献：Fujisawa M, Sakata-Yanagimoto M et al. *Blood* 2022, Sakata-Yanagimoto M et al. *Nature Genetics* 2014など多数

責任者：統合病理学教室 谷口 浩二（内線5050）

E-mail: path1@med.hokudai.ac.jp